

■目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のように育成することを目指す。
- ・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。（知識及び技能）
 - ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
 - ・言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

■学習内容

＜知識及び技能＞	①言葉の特徴や使い方 ②話や文章に含まれている情報の扱い方 ③我が国の言語文化 【具体的な内容】 ①話し言葉と書き言葉の違い、文や文章の中での漢字、仮名の使い分け、語彙、文と文との接続、話や文章の構成や種類、敬語、音読、朗読 ②情報と情報との関係、辞書や辞典の使い方 ③ことわざ、慣用句、故事成語、古文、文字の組み立て方、田紙と文字の大きさや配列、筆記具の特徴、読書
＜思考力、判断力、表現力等＞	①聞くこと、話すこと ②書くこと ③読むこと 【具体的な内容】 ①話の要点、伝えるための工夫（言葉の抑揚や強弱、間の取り方、資料の活用など）、話の構成、話し合い ②伝えたいことを明確にする、段落、文章全体の構成、書き表し方の工夫、引用、図表やグラフの活用、相互に感想の共有 ③登場人物の相互関係や心情、段落相互の関係、要旨の把握、場面や人物像の想像、表現の効果、要約、感想
＜学びに向かう力、人間性等＞	・国語の活用 【具体的な内容】 ・様々な活動場で、自らの考えを相手に伝えようと、また、相手の考えを自分が理解しようと努めること

■評価の方法

＜知識及び技能＞

- ・授業中の発言、様子
- ・ワークシートの記述、回答

＜思考力、判断力、表現力＞

- ・授業中の発言、様子
- ・ワークシートの記述、回答

＜学びに向かう力、人間性＞

- ・授業中の発言、様子
- ・自らの生活に生かそうとする態度

■生徒へのメッセージ

私たちが毎日、当たり前のように使っている日本語、けれども、その日本語（国語）を正しく使うことのできている人はどれくらいいるのでしょうか。
1年生では、国語の基礎基本（聞く、書く、読む）ことを学び、2、3年生で社会にでて必要となる内容（メモ、履歴書、情報の読み取り、敬語など）を学びます。
自分の気持ちや考えを正しく伝えるために、また、相手の気持ちや出会った文章の内容を正しく理解するために、いろいろな言葉を知り、適切に使えるように学習しましょう。